

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、  
 ご利用いただきたくご案内いたします。  
 当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を  
 重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ  
 どよろしくお願い申し上げます。

謹白

### 記

■ 実施日 2020年7月27日(月) ご依頼分より

### ■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
8333 4	MAC抗体 (抗酸菌抗体定性) 5E069-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00 (X)	冷蔵 (15日)	4~6	116 ※6	ELISA	陰性 0.7未満 (U/mL)	本検査は定 性検査です。 抗体濃度を 参考値とし てご報告い たします。  &E

※6：免疫学的検査判断料



## ● MAC抗体（抗酸菌抗体定性）

肺MAC症の診断補助に有用な検査です。

肺MAC (*Mycobacterium avium complex*) 症の確定診断は臨床症状や画像診断法、細菌学的検査などを総合しておこないます。関連学会より診断基準が出されていますが、良質な臨床検体が得られないなどの理由から、細菌学的診断基準を満たすまでに数ヶ月以上を要する症例が多いことなどが問題となります。

本検査は、血清中のMAC壁抗原〔glycopeptidolipid (GPL)-core〕に対するIgA抗体を測定することにより、肺MAC症の補助診断が可能です。GPL-coreはMAC壁の主要な構成成分であり、MAC以外の主要な肺抗酸菌感染の病原体である*M. tuberculosis* や*M. kansasii* には存在しないため、MACに特異的な血清診断の抗原として用いられています。日本では非結核性抗酸菌 (nontuberculous mycobacteria : NTM) による呼吸器感染症の約89%がMACであるという報告もあり、近年急速に増加傾向を示しています。

血清診断を診断補助として使用することで、診断が迅速、容易になることが期待されています。

### ▼疾患との関連

肺MAC症

### ▼関連する主な検査項目

MAC核酸同定〔TRC〕  
結核菌群核酸同定〔TRC〕

### ▼検査要項

検査項目名	MAC抗体（抗酸菌抗体定性）
項目コードNo.	8333 4
検体量	血清 0.5 mL
容器	S09→A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	4～6日
検査方法	ELISA
基準値	陰性 0.7未満 (U/mL)
検査実施料	116点 (「D012」抗酸菌抗体定性「17」)
判断料	144点 (免疫学的検査判断料)
備考	本検査は定性検査です。抗体濃度を参考値としてご報告いたします。 &E

### ●参考文献

Kitada S, et al : AMERICAN JOURNAL OF Respiratory and Critical Care Medicine 177 (1) : 793～797, 2008. (検査方法参考文献)

北田 清悟, 他 : 呼吸器内科27 (1) : 18～23, 2015. (臨床的意義参考文献)